



# 「憧れの心」

業務次長 讃 岐 幸 一  
会津教育事務所

話をして別れた後、心地好さとするがしさを残してくる人がいる。その一瞬一瞬を精一杯生きる、その積み重ねが充実した人生をつくり、若々しさを生み出し、人間の魅力を醸し出して、いるからであろう。

年少の頃、日曜日には決まって鎮守が森境内の清掃、野口英世博士の母シカが、中田観音を信仰し、お参りをした話はあまりにも有名である。

毎月十七日早朝に猪苗代の家を出、一晩観音堂でおこもりをし、英世の立身出世、健康安全などを祈願して翌朝帰っていき、交通手段のない明治、大正の時代に、猪苗代から往復徒歩でしかも毎月である。



## お参り今昔

新鶴村 中田観音  
住職 大澤 一元

すがりする」「お願いする」という心がくみ取れるのである。では、今のお参りの様子はどうか。車社会

このような自家用車や観

編集・発行 福島県教育庁 会津教育事務所 平田二郎  
編集協力 沼田二朗 沼田二朗 沼田二朗

つた。若さを身上とした活力には自信はあるものの、職場では先輩教師の仕事ぶりに目をシロクロさせたものである。この時に憧れたものは、仕事のできる人であり、専門的なもの・得意なものを持つ人であった。三十代にかけては、もっぱら教師としての専門性を身につける時代であったと思う。この間、仕事は心とでもいおうか「仕事はたすればいい」というものではない。心のこもった仕事を意欲を持ってすること。がいかに大事なことであるか

大変な努力であり、ひたむきな精神力、真剣な信仰心の持ち主だったに違いはない。当時の参拝者からは、大、小の違いこそあれ、お

の利点であろうが、日本国中あるいは、外国からも苦勞せずにお参りに来ることのできる。これは大変ありがたいことである。また、

を知らされた。四十代になると年齢的にも、仕事上においてももある立場を与えられ、役割を担うことになる。それにはより広範囲な専門性に加えオリジナリティが必要でないかと思ひ、そのような人になり引かれたし、尊敬もした。五十代になってからは、仕事はもちろんであるが、より人望がある人、人間的に深みのある人に憧れの目が向くようになった。

人は、いつの年代にあつても、自己のありたい姿を求め、強い憧れをもつものである。しかし、ともすると、いま自分がやらなければならないことを明日に延ばしたり、誰かがどうにかしてくれらるだろうと考へたりして安易に生きがちである。

今という瞬間を精一杯生きる姿を大切にしたい。

### 特色ある学校紹介 自然に親しみ自ら学ぶ児童の育成 河東町立河東第三小学校

休み時間や昼食時になると、浄心池の周辺で鬼ごっこをする子供、蘭金庭に設置されているベンチで読書をする子供、芝生や池の周りを食べる子供など、のびのびと学校生活を楽しむ姿がそこそこに見られる。

子供たちをよりよい環境の中で育てよう、というこころと、地域、保護者、先輩が一丸となつて達成してきたすばらしい蘭金庭と浄心池である。そして、現在もこれを守り、更に充実していかうと、子供たちと保護者、職員とで努力している。

学校教育目標の自分から進んで学習する子供、思いやりがあり、助け合う子供、めあてを持つ子供、健康で体力のある明るい子供。

の育成を目指し、特に環境緑化の面では、年次計画を作成し努力している。本年度は、その四年次にあたり目標の一つである「樹木を

環境緑化では、栽培も管理も常に子供とともにの合言葉で実践している。樹木を育て、職員が時間をみつけて自主的に行っている。また、樹木の雪囲いも職員と保護者の奉仕を得て実施され、そのできばえは本職以上である。

このような姿を見ている子供たちは、一人一人が愛情をこめて草花の栽培にあつている。花が咲いたといつては感激し、台風で花が倒れたといつては目に涙を浮かべて悲しんでいる子供たちである。

環境緑化活動の中で様々な体験を積み、自然に親しみ、自ら学ぶ児童の育成にあつている。本年度も環境緑化 花いっぱいコンクールで特別賞を受賞し、子供たちの喜びも大きい。草花を愛し、その生命力に感動し、自己を高めていくことに今後も努力したい。

社教の窓から

円滑に高齢期を迎えるために

新規事業「しなやかライフ実年講座」

昨年七月には「生涯学習振興法」が施行され、生涯学習時代が本格的なものになってきました。このように、県教育委員会の新規事業として「しなやかライフ実年講座」が県内三会場で開催され、会津では、喜多方市の協力を得て、次のように実施されました。

○会場

設備の整った喜多方保健センターにて実施しました。

○受講生

喜多方市、北塩原村、塩川町から四十〜五十歳代を

中心に、四十六名の参加者がありました。

○期 日

八月〜一月にわたり、日曜日の午後十二回実施しました。

○内 容

会津会場では次のような内容で「健康づくり講座」を行いました。

- ・健康な生活を送るための生活上の留意事項や、医療制度などの講義。
- ・病気を防ぐための、食事、薬、手当てなどの講義。
- ・健康維持増進のための、

スポーツの仕方についての実技や体力測定。

・身体機能調整を高めるための軽運動。(毎回)

○講 師

講師には各分野の専門家である、医師・薬剤師・保健婦・救急隊員・医療行政職員・スポーツ指導員があたり、それぞれ講義や実技指導を行いました。

◇

本事業は、四十〜五十代のいわゆる向老期の方々が高齢期を円滑に迎えるための学習の場として開設しました。この年代の多くの人は、生活が仕事中心になり、退職後に急に高齢者としての生活に対応できないという問題が生じています。そこで、就労者の学習要

求や学習しやすい条件を十分に考慮した学習の場を提供しようとしたものです。

講義は、身の回りの具体的な健康についての、専門的な立場からの内容であったため、とても参考になりました。

さらに、受講生の質問に対する説明もあり、有意義なものでした。毎回の軽運動もさわやかに楽しく行われ、日頃の運動不足の解消にもなったようです。

◇

今後とも、間違いなく到来する高度高齢化社会に向けて、高齢期への準備として自己向上を図る学習の機会を幅広く設けて、高齢者としての生活の安定を図っていきたいものです。

易な言葉で、順序よく話すことが、聞き手の感動を呼ぶことを若い時代にご指導いただいた私は幸せだったと思います。

◇

現在、どの学校でも、一週間の始まり、または、締めくくりとして、全校朝の会が開かれています。聞き手の児童生徒の感銘を深く、楽しい有意味な集会活動となるよう、更にみんなで話の内容や話し方の工夫を念じていくところでは、

心に残った人々

喜多方市教育委員会 教育長 齋藤 義次

私が教職について三年目だったと思います。

「来週の週番は君かね」と校長に呼びとめられ、朝の会で週番教師が話す内容をメモして持つて来るように指示されました。

早速メモして校長室に行きましたところ、それをもちに朝の会のつもりで話すようにいわれ

ました。若かった私は、内心「ムツ」としましたが、「今週の努力事項は……」と校長の前で話しました。校長は聞き終えてから、「聞く人は誰なのか」、「何を言いたいのか」、「話の順序は」、「話し言葉は」、「話の中のアクセントは……」などなど具体的ににご指摘とご指導をしてくださいました。

そして、もう一度整理し清書して来るよう指示されました。月曜日の週番としての私の話が、今までの惰性的な話でなかったことは確かだったと思います。

朝の会の終了後、職員の間で、

道ばたの文化財

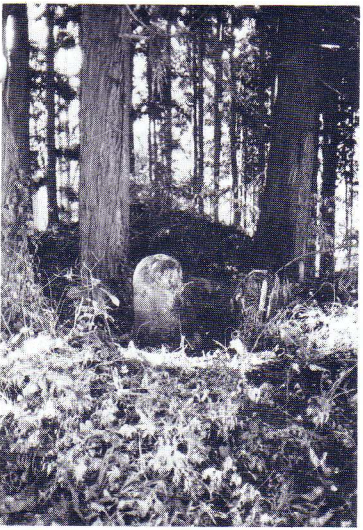
小塩のツンボ神様

会津若松市社会教育指導員 星 清

この道祖神は、若松札ノ辻を基点にして、保科正容が元禄八年に整備した、南山松川通新道(現、市道幹二の十六号線)傍にある小塩の一里塚を背にした、草むらの中に置かれている。御蔵入に見られるような形の整った道祖神と異なり、刻字も像刻もない六十センチほどの石柱だが、道祖の神の成り立ちから考えると興味を湧いてくる。つまり人々は農耕によって生きることを知ると、自然の中に神を見出し、山岳、巨岩、巨木、洞穴、海など人力を越えたものを崇敬し、悪霊退散、子孫繁栄の祈り、霊體めた神の依代として村境や峠、辻、橋のたもとに細長い石などを祀って『塞(さえ)の神』としたのが起源のようだからである。

小塩の道祖神は「耳だれなおしのツンボ神様」とも言われ、願かけ後に治癒すれば、お椀の糸尻に紐を通して石柱に吊し、お札参りをする風習があったが、時代の流れと共に顧みられることもなくなり、自然の中に放置されてきた。道祖神はまた、芭蕉の『おくのほそ道』からも分かるように、道、旅の神でもあった。現代の旅は気楽に果たせるが、昔の旅は常に死の恐怖と背中合わせでその大変な道を守つてくれたのがこの神であった。たとえその役目はあつても、先祖たちの身近な生活の中で、長い間生き続けてきた道祖神が、現在もそしてこれからも、道行く人々の幸せを守り続けていくしてほしいものである。

※府城より天領の境まで、御山、石村、南原、小塩、舟子の順に一里塚が設けられたが小塩以外は現存しない。小塩の塚も明治三十六年の野岩羽線開設時に片方が取り除かれた石積み粗末なもの。(大戸町小塩)



### フアジー

塩川町立塩川小学校  
教諭 金澤 隆之



家電製品にフアジー機能がついて性能アップ、好調な売れ行きと聞く。その理由は、器械でありながらあまりないものへの対応が出来ることにあるという。フアジーのようであるだろうかと考えてみる。子どもの姿をとかく視線や言葉などによって判断しがちで、一面的な見方になりやすい

### 出会い

本郷町立本郷中学校  
教諭 猪狩 敏彦



初任者として、もう一年が過ぎようとして「さわやかあいさつ、本中生」「気づき、考え、実行する」をスローガンに、実践している生徒たちを初めて日のあたるに、圧倒されるように感じるとともに、一層の意欲がわいた入学式の日のことが、ついこのように思い出される。そして、本中生の大活躍、水泳県大会男子総合優勝、

ことに気づく。学校の中で、子どもたちはいろいろな場面に出会う。その反応を見ていると実にさまざまなのである。そこに子どもたちの無限の可能性が秘められていると思う。このような可能性を信じて伸ばしていきたいと思う。学級の子どもの対応は、結果の良しあしのみでの判断になり易く、一面しか見ていないと反省している。今後は、物事を多面的に見ることを心がけ、個性を伸ばす指導を目指したい。本来、フアジー機能とは、人間の専売特許だったのだから。

### 一人一人を大切に

猪苗代町立猪苗代小学校  
教諭 遠藤 正子



四月に着任してからあつという間の三学期、またたく間に一年が過ぎようとしている。私の担任している五年生は元気がよく活発で、私の方を押され気味になる。授業中もこの調子で悪戦苦闘の毎日である。

### 私の抱負

新任教職員コーナー

陸上東北大会多数出場、合唱部県大会出場、郡駅伝大会男女アベック優勝。ほかにもたくさん輝かしい歴史を作った年に本校に赴任できたばかりでなく、その栄光の瞬間に参加し、熱い感動を味わえたことは、生涯の思い出であり、誇りである。輝かしい伝統を大切にしたい。その伝統に新たな一ページが刻めるよう、このすばらしい生徒たちと共に地道に一步一步前進していきたい。

### 豊かな表情で

喜多方市立関柴小学校  
校長 林 勝



まず、念願かなって教師になれた喜びを感謝にかえて、郷土の教育に真剣に励む教師になってほしい。教育は奥深いから、いつまでも両者の心に残っていく。教育は子どもを生かす力を育てることであり、可能性を引き出し磨き上げることである。そして、響育

### 使命感を

会津高田町立第一中学校  
教頭 星 正弥



初任者を対象にしたある調査によると、「児童・生徒を指導して本当によかった」が九三%、「教育職を選んだ理由として八八%が「児童・生徒との触れあい」をあげた。また、教員としての「服務」「言葉遣い」「礼儀」でとまどったり困ったりしたことがあるというものが五〇%、更に「指導力の不足」での悩みについて

若の面を贈られ、内心ドキドキとしたことがあった。ゆとりや心の不足から、子どもに対峙している素顔がだめなのである。以後、笑顔の美しい教師になりたいと願ってきた。

### 触れ合いを大切に

会津若松市立第二中学校  
教諭 田崎 光彦



私が初任の時上司から「触れ合いを」と言われて子どもたちと山や川で遊んだことが忘れられません。先生方も考え、実践されていると思いますが……。教育は、触れ合いを通して、そこから子どもとの信頼関係が生まれ、子どものやる気も起きてきます。ただ、やる気を起こすか、何をどうするか、指導がなると子どもも自己嫌悪になってしまいます。「勉強しろ、がんばれ」と言うのではなく、何をどのよう

### 初任者に望む

では七七%にも達するとい

う。この調査結果から見ると、初任者は児童・生徒への愛情をもち、教育職に生きがいを感じているが、教師としての自覚や指導力に不安を感じている。つまり、教師の資質の向上が問題なのである。この問題を実感として持ち続けてほしいものである。そのことが研修意欲をかきたてることになるからである。絶ゆまぬ研修は使命感につながる。使命感に燃え活力のある教師になつてほしい。

### 基本的な生活習慣の指導の充実のために 道徳教育振興会議から

この度、道徳教育振興会議より提言のあったリーフレットをお読みになられたでしょうか。

道徳教育振興会議は、文部省から委託を受けた各都道府県が次のことについて検討するために実施しているものです。

- (1) 学校における道徳教育の充実・振興を図るための、家庭および地域社会の教育機能や相互連携の在り方について
- (2) 道徳教育の充実・振興について、県民運動的になるような気運を醸成していくための諸方策について
- (3) 学校における道徳教育の充実・振興を図るための諸方策について

今年度の福島県道徳教育振興会議は、会津教育事務所管内で開かれました。

この振興会議では、昨年度までの振興会議の成果を踏まえ、「基本的な生活習慣の形成」と道徳教育とのかわりに焦点を当て、熱心な検討が重ねられました。その結果を、「学校における基本的な生活習慣の指導の充実のために」として提言し、更に、この提言を生かすため「具体的な取り組みに向けて」について、市町村教育委員会、学校、家

### 道徳教育振興会議から

庭、地域社会の四つの視点から具体例を示しました。

この「提言」は、福島県全体を対象としていますので、各学校では、家庭・地域社会や児童生徒の実態を的確に把握し、実態に合わせて、一層具体化するこ

とが望まれます。例えば「言葉づかい」について学校だけでなく協力をお願いする場合、どの言葉を誰に対して、どのようににつかわせたいのかを、実態に合わせて具体的に示していくことが必要かと思えます。ところで、基本的な生活習慣が、学年が進むにつれて崩れてくるという指摘があります。基本的な生活習慣をより確かに



身に付けさせるには、反復・継続による行為の指導と内面化を図る道徳性の育成の両面の指導に力を入れていく必要があります。そのためにも提言内容の自校化を図り、各校における基本的な生活習慣の指導が充実することを願っています。

### 平成二年度教職員研究論文審査結果について

平成二年度、管内より県教職員研究論文に応募された数は、

昨年より四点多い十六点で、全体では二十一パーセントを占めました。その内、入賞者数は二名で十六・七パーセントにな

っております。

入賞者は、会津坂下町立坂下第二中学校江川浩教諭、研究主題「主体的な追究活動をめざした指導法の工夫——公民的分野における体験的学習の導入——」、会津高田町立永井野小学校星清智教諭、研究主題「児童一人一人に喜びを味わわせる絵画指導はどうあればよいか——お話の絵——」でかほ島

### 児童・生徒作品コーナー

詩

#### ありの行列

新鶴村立新鶴小学校  
四年 若 林 亜 紀

列をつくって  
食べものをさがし歩いた  
みんなわらいながら  
さがし歩いた  
あつ、あつた  
おうい！あつたよ  
早くおいでよ  
こんなおつきなバスケット  
はじめてだね  
いっしょうけんめい  
さがしてよかつたね  
持つて帰れるかなあ  
よいしょ、よいしょ  
ほら、みんな  
しっかり持つて  
もう少しだ  
家はすぐそこだよ

#### とんぼのブローチ

新鶴村立新鶴小学校  
一年 いちじょう のぞみ

あさ学校にくるとき  
とんぼを見つけた  
よわっているみたいだなあ  
そうつとわたしのむねにつけてやった  
とんぼが  
ブローチになった  
とんぼももちよさそうに  
べたつとまってる  
とんぼが  
おちないように  
そろそろあるいた。

習字

#### 希望

熱塩加納村立熱塩小学校  
五年 渡 部 訓 充

#### 創造

熱塩加納村立熱塩小学校  
六年 猪 俣 陽 子

創造  
六年 猪俣陽子

希望  
五年 渡部訓充

図画

#### 白い橋の見える風景

山都町立山都中学校  
三年 齋 藤 修



### 教育事務所短信 指導課から

平成二年度、管内より県教職員研究論文に応募された数は、

昨年より四点多い十六点で、全体では二十一パーセントを占めました。その内、入賞者数は二名で十六・七パーセントにな